

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く 都道府県別訪日外客数と訪問率 月次指標の早期推計：2月レポート

野村亮輔（副主任研究員）
稲田義久（APIR 研究統括兼数量経済分析センター長）
松林洋一（APIR 上席研究員）
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●3月発表データのレビュー：JNTO 訪日外客数

▶JNTO 訪日外客統計によれば(図1及び表4)、**2月の訪日外客総数(推計値)は325万8,100人となり、2月として初めて300万人を超えた**(前年同月比+16.9%)。春節に伴う大型連休(1月28日から2月4日)が2月初旬まで続いたことやウィンタースポーツ需要の高まりもあり、**アジアや欧米豪を中心に訪日外客数が増加した**。一方、**出国日本人数は118万1,100人と、2カ月ぶりに100万人を超えた**(同+20.7%)。なお、**2019年同月比-23.0%となり、減少幅は前月(同-37.2%)から縮小したが、アウトバウンド需要の回復は依然緩慢である**。

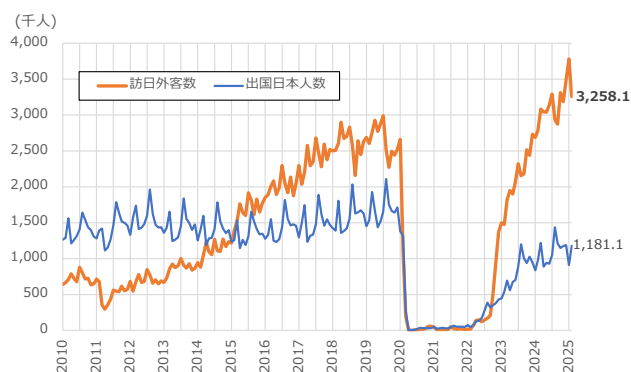
▶**訪日外客数のトップ5**を国・地域別にみると(図2及び表4)、**2月は韓国が84万7,300人(前年同月比+3.5%)で最多となった**。次いで中国が72万2,700人(同+57.3%)、台湾が50万7,300人(同+1.0%)、香港が19万5,500人(同-5.0%)、米国が19万1,500人(同+28.8%)と続く。

▶**目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば(図3及び表5)、12月は348万9,888人であった**(前年同月比+27.6%)。うち、**観光客は328万13人(同+28.6%)と、2カ月ぶりに300万人超の水準となった**。また、**商用客は8万8,582人(同+9.8%)、その他客は12万1,293人(同+18.8%)であった**。

▶**2024年通年の目的別訪日外客総数(暫定値)は、3,687万148人、前年比+47.1%となった**。うち、**観光客は3,361万1,553人、前年(2,237万9,962人)から大幅増加した(同+50.2%)**。また、**商用客は119万8,602人(同+12.3%)、その他客は205万9,993人(同+27.3%)**。なお、**2019年比でみると、観光客(同+18.9%)やその他客(同+10.3%)などは既にコロナ禍前を上回ったが、商用客(同-31.8%)は依然回復が遅れている**。

▶**大阪・関西万博が4月13日に開幕し、自治体による観光誘客政策が積極的に行われつつある**。今月号では徳島県の事例を取り上げ、その内容を紹介する。**徳島県では4月13日より「徳島ワンコインキャンペーン」を実施している**。具体的な施策内容については、(1)万博会場の徳島県ブースを訪れた徳島県在住者以外(外国人旅行者含む)に対し、(2)関西を出発する高速バスやフェリーが片道500円で利用できるクーポンの配布である。**本プログラムの特徴は日本人旅行者のみならず外国人旅行者をも対象としていることである**。このような万博開催を契機とした誘客促進策は、**都市部のみならず地域においても国内及びインバウンド消費拡大につながる事が期待できよう**。

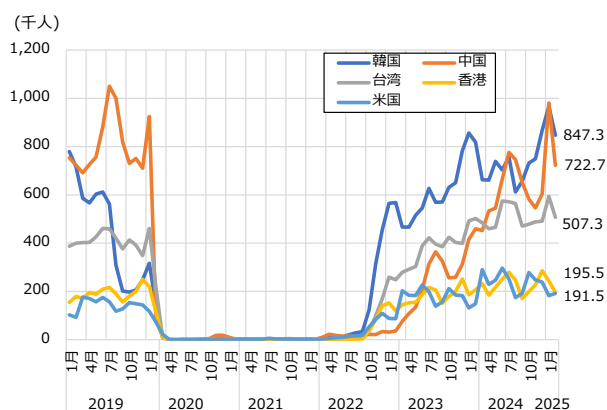
図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

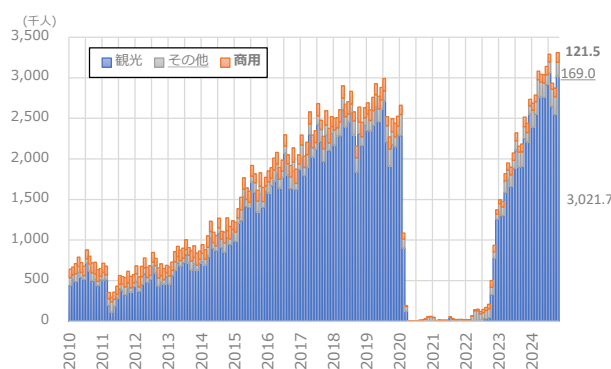
注) 2022年まで確定値。23年、24年1-10月は暫定値、24年11-12月は推計値

図2 上位5カ国・地域別訪日外客数の推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

図3 目的別訪日外客数推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成

注) 目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*なお、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の訪問率のデータが2023年9月から公表が再開された。このため、中断していた訪問率の月次推計についてはデータの蓄積を待って今後再開する予定である。

トピックス 1

● 2月関西の財貨・サービス貿易及び1月のサービス産業動向

▶ **関西2月の輸出額は前年同月比+10.7%と5カ月連続で増加した**(前月:同+3.5%)。一方、**輸入額は同-4.3%と3カ月ぶりに減少**。春節の影響が剥落したこともあり、**関西の貿易収支は+4,314億円と2カ月ぶりの黒字、黒字幅は同+123.3%拡大した**(図4)。

▶ 対中貿易動向をみると(図5)、**関西2月の対中輸出は前年同月比+18.0%と3カ月ぶりの増加**となった(前月:同-12.0%)。輸出増に寄与したのは電気回路等の機器や非鉄金属などであった。一方、**対中輸入は同-10.9%と3カ月ぶりの減少**(前月:同+19.6%)。輸入減に寄与したのは衣類及び同付属品や音響・映像機器(含部品)などであった。春節の影響が剥落したため、輸出は大幅増加し、輸入は大幅減少となった。

▶ **2月の関西国際空港(以下、関空)の訪日外客数は79万9,576人と、2月として過去最高値を更新した**(2024年2月:71万5,170人)。2月初旬まで続いた春節に伴う大型連休の影響もあり、外国人入国者数は堅調に推移している。前年同月比+11.8%増加した(前月:同+40.4%)。同月の日本人出国者数は23万557人であった。同+26.0%と増加幅は前月(同+11.0%)から拡大。なお、2019年同月比では-24.6%と、減少幅は3カ月ぶりに縮小したが、依然アウトバウンド需要の回復は緩慢である。

▶ **1月のサービス業の活動は一進一退の動きが続く**(図7)。サービス業の生産活動を示す**第3次産業活動指数**(季節調整済み:2015年平均=100)をみれば、1月は101.6で前月比-0.3%低下し、**2カ月ぶりのマイナス**となった(前月:同+0.4%)。1月を10-12月平均と比較すると、-0.2%低下した(10-12月期:前期比-0.8%)。また、**対面型サービス業指数***は98.1で同-0.8%と**3カ月ぶりのマイナス**(前月:同+2.8%)。うち、**飲食店、飲食サービス業**(同-5.0%、3カ月ぶり)や**娯楽業**(同-3.4%、3カ月ぶり)が**低下に寄与**した。1月の対面型サービス業指数は10-12月平均比+1.1%上昇した(10-12月期:前期比-0.4%)。

▶ **観光関連指数****(2015年平均=100)は、96.3と前月比+1.3%上昇し、**2カ月連続のプラス**(前月:同+1.3%)。うち、**宿泊業**(同+9.7%、2カ月連続)や**旅客運送業**(同+3.2%、2カ月連続)等が**上昇に寄与**した。1月の観光関連指数を10-12月平均と比較すると+1.8%上昇した(10-12月期:前期比+0.6%)。

*対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。

**観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図4 関西 対世界貿易の推移

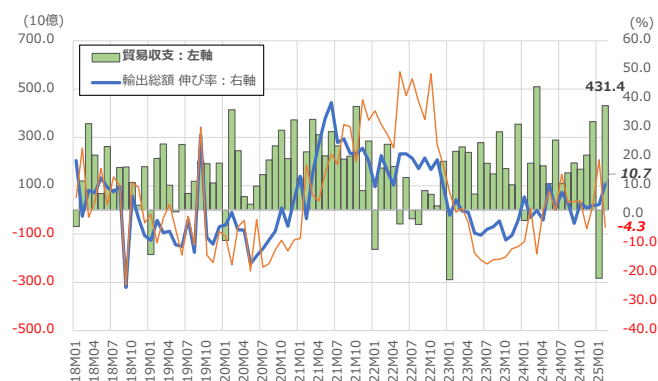
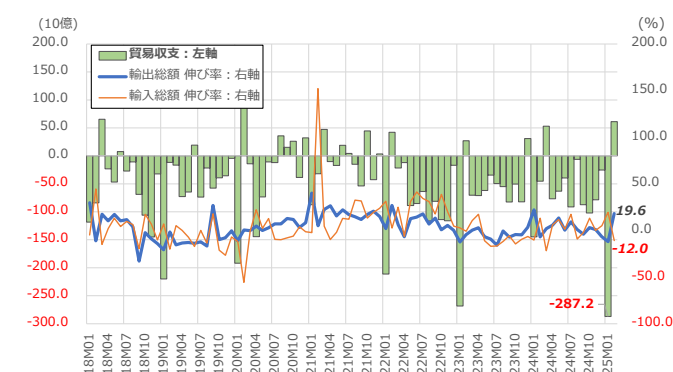
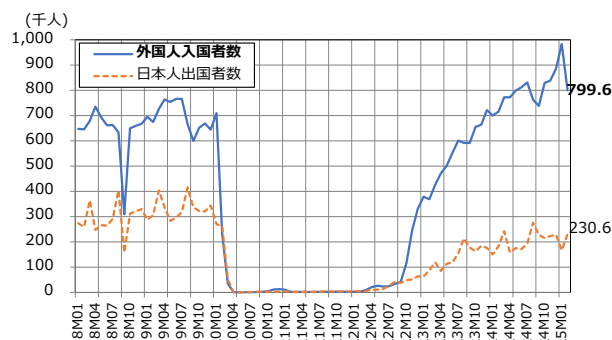


図5 関西 対中貿易の推移



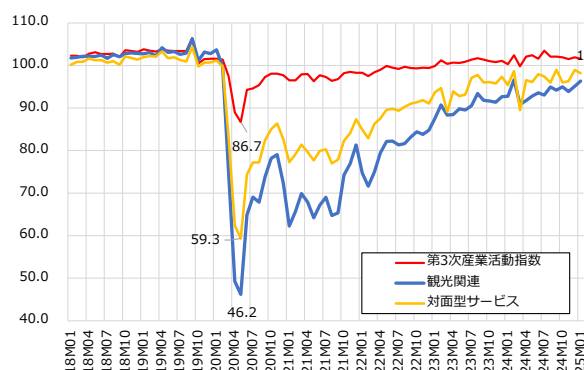
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図6 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:出入国管理統計より筆者作成。2025年2月値は速報値

図7 観光関連 対面型サービス 第3次産業:2015年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●12月延べ宿泊者数の動向：関西2府8県

▶観光庁によれば、12月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は**11,830.4千人泊**であった(表1)。前年同月比+4.4%と2021年11月以降増加しており、増加幅は前月(同+3.6%)から拡大した。

▶日本人延べ宿泊者数は**7,943.2千人泊**となった(表1及び図8)。前年同月比+1.9%と2カ月ぶりに増加した(前月：同-0.9%)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,730.9千人泊、京都府1,510.2千人泊、兵庫県1,327.0千人泊、三重県776.0千人泊、滋賀県362.3千人泊、和歌山県327.6千人泊、福井県277.3千人泊、鳥取県226.0千人泊、徳島県211.0千人泊、奈良県194.9千人泊であった。前年同月比でみると、**三重県**(同+26.0%、9カ月連続)、**兵庫県**(同+11.2%、7カ月連続)や**鳥取県**(同+49.7%、12カ月連続)等が、日本人延べ宿泊者の増加に寄与した。なお、京都府は同-17.9%と19カ月連続で減少しており、日本人宿泊者数は依然低迷している。

▶外国人延べ宿泊者数は**3,887.2千人泊**となった(表1及び図9)。前年同月比+9.8%と増加幅は2カ月連続で縮小し(10月：同+20.8%、11月：同+13.5%)、**1桁の伸びとなった**。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府2,209.9千人泊、京都府1,377.3千人泊、兵庫県131.2千人泊、和歌山県55.0千人泊、奈良県28.9千人泊、滋賀県26.4千人泊、三重県21.3千人泊、徳島県15.6千人泊、鳥取県15.1千人泊、福井県6.6千人泊であった。前年同月比をみれば、**京都府**(同+26.5%、33カ月連続)、**兵庫県**(同+25.2%、29カ月連続)や**和歌山県**(同+32.1%、31カ月連続)等、**8府県が外国人延べ宿泊者の増加に寄与した**。

▶2024年関西の延べ宿泊者数は**1億3,635万人泊**となった。前年比+8.9%と3年連続で増加したが、前年(同+43.5%)より増加幅は縮小した。うち、**日本人延べ宿泊者数**は9,068万人泊で、同-1.1%と**4年ぶりに減少**。一方、**外国人延べ宿泊者数**は4,567万人泊で、同+36.3%と**3年連続で増加**した。宿泊料金の高騰に対して賃金上昇が追いついていないこともあり(図10)、**日本人宿泊者数にとっては厳しい状況が続いている**。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

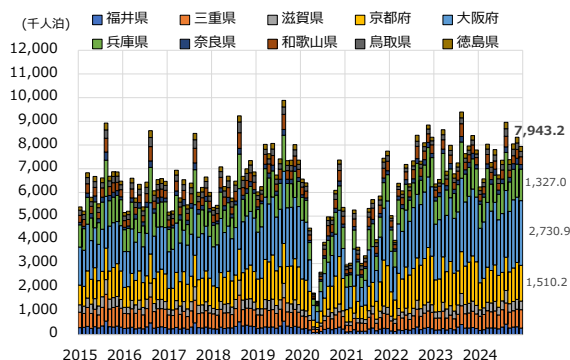


図9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

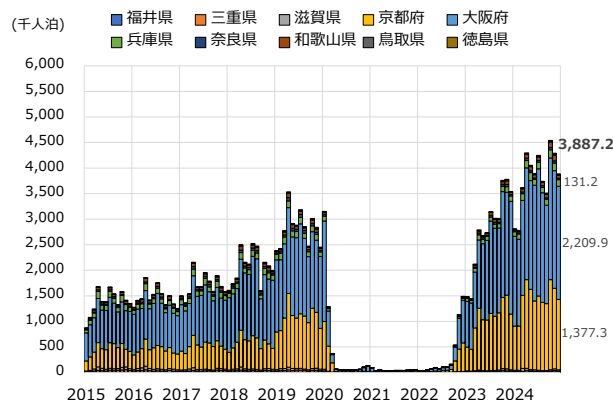


図10 宿泊料金と賃金との交易条件

(現金給与総額/宿泊料金)



注) 宿泊料金(消費者物価)と賃金(現金給与総額)の相対的関係をみている。
2019年平均を100。

出所) 総務省統計局『消費者物価指数』及び厚生労働省『毎月勤労統計調査』

表1 関西 延べ宿泊者数伸び率：12月

2024年12月	総数			日本人			外国人		
	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)	延べ宿泊者数： (千人泊)	前年比伸び率： 当月(%)	前年比伸び率： 前月(%)
福井県	283.8	6.3	12.1	277.3	6.6	11.2	6.6	-7.7	42.0
三重県	797.3	24.9	7.8	776.0	26.0	7.7	21.3	-5.4	11.9
滋賀県	388.7	1.0	-2.9	362.3	0.7	-2.1	26.4	5.2	-11.9
京都府	2,887.4	-1.4	-6.5	1,510.2	-17.9	-18.4	1,377.3	26.5	9.3
大阪府	4,940.9	0.1	4.5	2,730.9	0.0	-2.4	2,209.9	0.2	14.3
兵庫県	1,458.2	12.4	11.4	1,327.0	11.2	9.3	131.2	25.2	35.9
奈良県	223.9	11.1	6.5	194.9	12.8	6.7	28.9	1.0	5.5
和歌山県	382.6	11.7	11.1	327.6	8.9	4.9	55.0	32.1	40.7
鳥取県	241.1	51.8	38.3	226.0	49.7	34.5	15.1	93.6	117.2
徳島県	226.6	28.9	25.3	211.0	26.1	25.5	15.6	82.8	22.8
関西2府4県	10,281.6	1.9	2.0	6,452.9	-2.2	-4.0	3,828.7	9.6	13.1
関西2府8県	11,830.4	4.4	3.6	7,943.2	1.9	-0.9	3,887.2	9.8	13.5
全国	54,607.0	4.0	4.9	39,199.1	-1.9	-0.3	15,407.8	22.9	22.9

注：表中の赤枠は寄与度が高いTOP3を示している。

出所：観光庁「宿泊旅行統計調査」(図8～9及び表1)より筆者作成

トピックス 3

● 2024 年 10-12 月期訪日外国人訪問率と消費単価：関西

▶ 2024 年 10-12 月期における関西各府県の訪問率をみると(図 11)、**大阪府 40.1%が最も高く**、次いで京都府 30.0%、奈良県 9.0%、兵庫県 5.6%、和歌山県 1.4%、三重県 0.7%、滋賀県 0.6%、徳島県 0.3%、鳥取県 0.3%、福井県 0.2%と続く。前年同期と比較すると(表 2)、奈良県は+2.3%ポイント、京都府は+1.1%ポイント、大阪府は+0.8%ポイント、和歌山県は+0.2%ポイント、兵庫県は+0.1%ポイント、鳥取県は+0.1%ポイント、滋賀県は+0.0%ポイント、徳島県は+0.0%ポイントはいずれも上昇。一方、三重県は-0.1%ポイント、福井県は-0.0%ポイントとそれぞれ低下した。

▶ 当該期間の各府県の訪問率に訪日外客数を乗じて推計した関西における訪日外客数をみよう。**2024 年 10-12 月期の訪問者数**を降順にみれば(表 2)、**大阪府が 400 万 7,894 人**(前年同期比+32.6%)と**最も多く**、次いで京都府が 300 万 546 人(同+34.8%)、奈良県が 90 万 2,491 人(同+73.1%)、兵庫県が 56 万 2,190 人(同+33.3%)、和歌山県が 13 万 6,372 人(同+46.1%)、三重県が 6 万 8,486 人(同+17.1%)、滋賀県が 6 万 1,833 人(同+36.7%)、鳥取県が 3 万 3,334 人(同+62.3%)、徳島県が 2 万 6,272 人(同+39.2%)、福井県が 2 万 88 人(同+22.7%)と続く。

▶ 2024 年 10-12 月期の関西における訪日外国人消費単価(旅行者 1 人 1 回当たりの旅行消費金額)をみると(表 3)、**関西 2 府 4 県では前年同期比-0.9%小幅減少した**。費目別にみれば、娯楽等サービス費(同-16.0%)、飲食費(同-5.2%)、宿泊費(同-1.9%)は減少した一方、交通費(同+8.9%)や買物代(同+5.8%)は増加した。

▶ 観光庁によれば、2024 年 10-12 月期の関西における**訪日外客消費額は 5,753 億円**となり(表 3)、**前年同期比+39.2%増加した**(7-9 月期：同+30.6%)。同期の全国の消費額*は 2 兆 2,969 億円、同+36.5%となり(7-9 月期：同+39.0%)、関西は全国の伸びを幾分上回った。

*全国の消費額については本レポート No.67 を参照。

図 11 訪日外国人訪問率の推移：関西 2 府 8 県

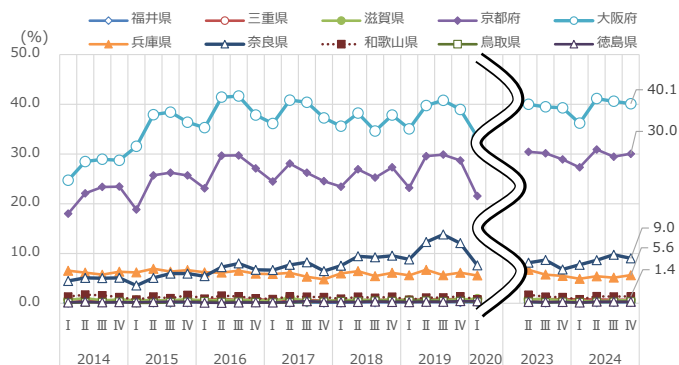


表 2 訪日外客の訪問率と人数：関西 2 府 8 県

単位:%、人

府県ベース	23Q4	24Q4	前年差	■府県ベース	23Q4	24Q4	前年比伸び率
福井県	0.2	0.2	-0.0	福井県	16,375	20,088	22.7
三重県	0.8	0.7	-0.1	三重県	58,487	68,486	17.1
滋賀県	0.6	0.6	0.0	滋賀県	45,242	61,833	36.7
京都府	28.9	30.0	1.1	京都府	2,225,188	3,000,546	34.8
大阪府	39.3	40.1	0.8	大阪府	3,022,248	4,007,894	32.6
兵庫県	5.5	5.6	0.1	兵庫県	421,601	562,190	33.3
奈良県	6.8	9.0	2.3	奈良県	521,369	902,491	73.1
和歌山県	1.2	1.4	0.2	和歌山県	93,346	136,372	46.1
鳥取県	0.3	0.3	0.1	鳥取県	20,544	33,334	62.3
徳島県	0.2	0.3	0.0	徳島県	18,875	26,272	39.2

運輸局ベース	23Q4	24Q4	前年比伸び率	■運輸局ベース	23Q4	24Q4	前年比伸び率
北海道	6.2	6.2	0.0	北海道	475,673	619,249	30.2
関東	54.4	53.4	-1.0	関東	4,186,030	5,332,388	27.4
中部	9.9	11.4	1.5	中部	758,202	1,135,828	49.8
近畿	42.6	43.3	0.7	近畿	3,273,211	4,322,842	32.1
九州	12.8	12.1	-0.7	九州	986,913	1,207,610	22.4

出所: JNTO『訪日外客統計』及び観光庁『インバウンド消費動向調査』より推計。

表 3 費目別訪日外国人消費単価の比較：関西 2 府 4 県

		費目別 (7区分)						
		消費単価	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
2023年10-12月期 (万円/人)	滋賀県	5.7	2.7	2.1	0.2	0.1	0.5	0.0
	京都府	5.2	2.2	1.3	0.1	0.2	1.0	0.0
	大阪府	9.0	2.7	1.9	0.2	0.5	3.3	0.0
	兵庫県	3.6	1.2	1.1	0.1	0.2	0.9	0.0
	奈良県	1.2	0.3	0.4	0.0	0.1	0.2	0.0
	和歌山県	3.8	2.0	0.9	0.1	0.1	0.5	0.0
	2府4県	4.8	1.8	1.3	0.1	0.2	1.1	0.0
2024年10-12月期 (万円/人)	滋賀県	4.0	1.8	1.4	0.1	0.1	0.5	0.0
	京都府	5.7	2.5	1.3	0.2	0.3	1.0	0.0
	大阪府	9.5	2.8	1.9	0.3	0.4	3.5	0.0
	兵庫県	3.6	1.3	1.0	0.1	0.1	0.8	0.0
	奈良県	1.1	0.3	0.3	0.0	0.1	0.3	0.0
	和歌山県	4.4	2.0	1.3	0.1	0.1	0.6	0.0
	2府4県	4.7	1.8	1.2	0.1	0.2	1.1	0.0
前年度比(%)	滋賀県	-29.3	-32.6	-33.6	-45.8	71.5	9.9	-
	京都府	9.2	13.8	0.7	33.4	21.3	2.2	-
	大阪府	5.6	6.3	-1.1	27.8	-10.7	6.0	-
	兵庫県	-2.3	12.6	-0.7	-6.6	-64.6	-7.2	-
	奈良県	-5.7	-10.3	-8.1	49.0	-52.3	36.8	-
	和歌山県	15.3	3.6	36.5	44.3	-7.9	17.4	-
	2府4県	-0.9	-1.9	-5.2	8.9	-16.0	5.8	-

訪日外客消費額	23年10-12月期(万円)	24年10-12月期(万円)	前年同期比(%)
関西2府4県	41,319,967	57,526,856	39.2
全国	168,310,000	229,690,000	36.5

(注)全目的ベース。2023 年、24 年は確報(上図も同様)。消費単価にはパッケージ参加費が含まれる。

出所: 観光庁『インバウンド消費動向調査 参考表都道府県別集計』より作成。

表 4 2025 年 2 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2024年	2025年	伸率(%)	2024年	2025年	伸率(%)
	2月	2月		1月～2月	1月～2月	
総数	2,788,224	3,258,100	16.9	5,476,702	7,039,300	28.5
総数(中国除く)	2,328,761	2,535,400	8.9	4,601,151	5,336,300	16.0
韓国	818,562	847,300	3.5	1,675,601	1,814,400	8.3
中国	459,463	722,700	57.3	875,551	1,703,000	94.5
台湾	502,237	507,300	1.0	994,525	1,100,700	10.7
香港	205,884	195,500	-5.0	392,184	439,200	12.0
タイ	101,443	116,800	15.1	192,028	213,600	11.2
シンガポール	36,915	42,300	14.6	71,055	88,000	23.8
マレーシア	60,178	64,900	7.8	92,257	139,900	51.6
インドネシア	38,246	47,000	22.9	79,533	110,200	38.6
フィリピン	65,217	66,700	2.3	121,993	138,900	13.9
ベトナム	60,181	73,700	22.5	104,783	124,100	18.4
インド	9,965	12,900	29.5	22,573	29,100	28.9
豪州	66,501	88,800	33.5	170,105	229,000	34.6
米国	148,719	191,500	28.8	280,574	374,000	33.3
カナダ	33,895	44,500	31.3	65,567	86,800	32.4
メキシコ	7,684	10,800	40.6	14,489	20,100	38.7
英国	25,877	31,400	21.3	45,686	57,800	26.5
フランス	22,268	26,500	19.0	36,712	43,000	17.1
ドイツ	14,862	18,600	25.2	25,264	31,300	23.9
イタリア	7,555	11,100	46.9	14,434	19,900	37.9
スペイン	6,323	9,800	55.0	11,092	17,200	55.1
ロシア	2,907	5,700	96.1	6,149	10,600	72.4
北欧地域	8,919	12,000	34.5	16,358	21,200	29.6
中東地域	6,224	10,800	73.5	12,110	22,700	87.4
その他	78,199	99,500	27.2	156,079	204,600	31.1

表 5 2024 年 12 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (前年同月比)

国・地域	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)	2023年	2024年	伸率(%)
	12月	12月		12月	12月		12月	12月		12月	12月	
総数	2,734,115	3,489,888	27.6	2,551,290	3,280,013	28.6	80,703	88,582	9.8	102,122	121,293	18.8
韓国	782,726	867,377	10.8	757,696	840,235	10.9	15,495	14,537	-6.2	9,535	12,605	32.2
中国	312,474	604,293	93.4	269,957	550,001	103.7	18,409	22,467	22.0	24,108	31,825	32.0
台湾	399,500	491,162	22.9	388,567	477,888	23.0	7,081	7,509	6.0	3,852	5,765	49.7
香港	251,080	285,553	13.7	248,105	281,845	13.6	1,639	2,000	22.0	1,336	1,708	27.8
タイ	125,822	146,666	16.6	122,486	143,343	17.0	1,662	1,585	-4.6	1,674	1,738	3.8
シンガポール	113,695	136,250	19.8	112,107	134,471	19.9	1,320	1,451	9.9	268	328	22.4
マレーシア	60,806	71,629	17.8	59,099	69,847	18.2	1,118	1,138	1.8	589	644	9.3
インドネシア	63,696	74,994	17.7	56,150	67,327	19.9	1,147	1,054	-8.1	6,399	6,613	3.3
フィリピン	79,107	108,515	37.2	70,312	96,826	37.7	5,124	7,685	50.0	3,671	4,004	9.1
ベトナム	37,047	40,060	8.1	13,938	15,666	12.4	2,457	2,818	14.7	20,652	21,576	4.5
インド	13,515	17,001	25.8	7,756	11,134	43.6	2,861	3,141	9.8	2,898	2,726	-5.9
豪州	89,471	112,500	25.7	87,045	109,659	26.0	1,176	1,191	1.3	1,250	1,650	32.0
米国	183,166	238,523	30.2	172,056	225,869	31.3	7,477	8,133	8.8	3,633	4,521	24.4
カナダ	36,441	48,259	32.4	35,092	46,810	33.4	724	670	-7.5	625	779	24.6
メキシコ	9,081	12,021	32.4	8,766	11,724	33.7	163	143	-12.3	152	154	1.3
英国	23,877	30,319	27.0	21,094	27,187	28.9	1,632	1,577	-3.4	1,151	1,555	35.1
フランス	17,732	20,712	16.8	15,460	18,364	18.8	1,348	1,238	-8.2	924	1,110	20.1
ドイツ	11,810	15,781	33.6	9,592	13,513	40.9	1,622	1,528	-5.8	596	740	24.2
イタリア	10,560	15,141	43.4	9,485	14,101	48.7	729	675	-7.4	346	365	5.5
ロシア	3,255	5,879	80.6	2,662	5,150	93.5	297	379	27.6	296	350	18.2
スペイン	6,361	10,503	65.1	5,938	9,840	65.7	199	312	56.8	224	351	56.7
中東地域	7,223	12,569	74.0	6,504	11,685	79.7	464	566	22.0	255	318	24.7
その他	95,670	124,181	29.8	71,423	97,528	36.5	6,559	6,785	3.4	17,688	19,868	12.3

注) 目的別訪日外客数の定義については、図 3 注参照。

出所: 日本政府観光局(JNTO)、2025 年 2 月 19 日付より筆者加工